

事務事業名	病児・病後児保育事業	所属部	子ども政策局	所属課	子ども政策課
政策名	(Ⅲ)支えあい健やかに暮らせるまち《保健・医療・福祉》	所属G	教育・保育グループ	課長名	渡部 泰昌
施策名	(25)子育て支援の充実	担当者名	周藤寛雅	電話番号	0854-40-1044 (内線) 2252
目的	対 象 A)子どもの保護者と産み育てたい夫婦 意 A)安心して子育てができる。B)心身ともに健やかに育つ。 B)乳幼児・児童・生徒(0~18歳) 意 図	予算科目	会計 款 大事業 大事業名 0 1 1 5 0 2 項 目 中事業 中事業名 1 0 0 5 0 6	児童福祉総務管理事業 病児病後児保育事業	
基本事業名	(072)子育てと仕事の両立支援				
目的	対 象 保護者 意 図 子育てと仕事を両立できる。				

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (H21 年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	事業内容 病気の回復期にあり、かつ、集団保育が困難な期間において、当該児童を専用施設(だいたい病児・病後児保育室、三刀屋病後児保育室)及び保育所内(掛合保育所)で一時的に預かる事業。(看護師:常時配置、保育士:児童数に応じ配置) 利用料金:1,500円/日(食事なし1,200円/日) 対象児童:乳幼児から小学校6年生までの児童

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動					
	R元年度実績(R元年度に行った主な活動) 業務委託契約締結、委託料支払い、委託先との協議、申込受付、決定、利用料徴収、施設維持管理	R2年度計画(R2年度に計画する主な活動) 業務委託契約締結、委託料支払い、委託先との協議、申込受付、決定、利用料徴収、施設維持管理				
	② 活動指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(計画)
	ア 登録児童数	人	135	162	170	158
	イ 実施施設数	施設	3	3	3	3
	ウ					
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(計画)
	病気の回復期にある乳幼児から小学校6年生までの児童とその保護者		ア 利用者数	人	292	402	357
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	イ 利用者数(上記のうち病児数)	人		145	72	72
	保護者の子育てと就労の両立を図る。	④ 成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(計画)
	ア 利用者数/申込数	%	79.3	95.7	78.5	80.0	
	イ						
	ウ						

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳(1年度決算)	② コストの推移	単位	H29年度(決算)	H30年度(決算)	R元年度(決算)	R2年度(計画)	
○だいたい病児・病後児保育室 委託料(愛耕福祉会):6,797千円、その他施設管理等:468千円	財源内訳	国库支出金	千円	4,345	5,058	4,451	4,919
○みとや病後児保育室 委託料(社会福祉協議会):4,407千円、その他施設管理等:58千円		県支出金	千円	4,345	5,058	4,451	4,919
○掛合病後児保育室 委託料(社会福祉協議会):1,966千円、その他施設管理等:58千円	地方債	千円					
	その他	千円	431	593	526	645	
	一般財源	千円	2,763	3,034	4,326	4,921	
	事業費計(A)	千円	11,884	13,743	13,754	15,404	
	正規職員従事人数	人	1	1	1		
	延べ業務時間	時間	320	350	330		
	人件費計(B)	千円	1,305	1,516	1,399		
	トータルコスト(A)+(B)	千円	13,189	15,259	15,153		

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
保護者の就労形態の多様化により、保育に対するニーズも多様化の傾向にある。近年の経済情勢や雇用情勢により、児童雇用の休暇取得が困難な状況にある。平成27年度から始まった子ども子育て支援新制度により、この事業に係る国基準等の改正、見直しははかられた。	保育ニーズに対応するため国基準に基づき実施している。登録児童数が増加傾向あり、大東、掛合(定員各2名)の2か所のみでは申込に対し受入が困難となることがあったため、平成27年度新たに三刀屋地区に施設を整備し(定員2名)、平成28年度より受入人数の拡大をはかっている。平成30年度から、大東の施設を病児対応型にし、サービスを拡充した。	平成27年度三刀屋町内に病後児保育室を整備し、平成28年度より市内3カ所病後児保育室を開設することとなったが、平成26年度に実施した子ども・子育て支援事業ニーズ調査では、「病児施設」を利用したいと思った人が約3割(28.9%)であった。「病児施設」の利用ニーズもあり、平成30年度から「だいたい病後児保育室」を「だいたい病児・病後児保育室」とし病児保育を開始し、定員も4名へ拡充した。

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？	見直し余地があるとする理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている *余地がある場合⇒	
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である *余地がある場合⇒	
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である *余地がある場合⇒	
B 有効性	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	理由 平成29年度にだいたい病後児施設改修を行い受入定員を拡大した。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	
	<input type="checkbox"/> 影響無 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有	理由 利用者の負担増、子育てと就労の両立支援につながらない。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？	
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある *ある場合⇒ (具体的な手段や類似事業名)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	理由 他に類似事業はない。
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 国の示す実施基準に基づいている、国改正による対応はある。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 既に委託している。
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 市内すべての乳幼児から小学6年生までの児童が対象である。

評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果	② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	従来2施設(大東、掛合)において事業実施してきたが、利用ニーズが高まる中、利用希望すべての受入は困難な状況であったため、平成27年度に三刀屋において施設改修し、平成28年4月より三刀屋にて事業を開始した。これにより、木次、三刀屋エリアでの受入が可能となった。また、平成30年4月より、だいたい病後児保育室を病児対応とした。

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> <p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		●	×																		
	低下		×	×																		
<ul style="list-style-type: none"> ・子育てと就労の両立するために、病児・病後児のニーズが高まっている傾向にある。 ・近年では病児の受入ニーズが特に高まっている。 ・平成27年度中に三刀屋健康福祉センター内の一室を改修して病後児保育室を新設し、平成28年度から運営をはじめた。 ・平成30年度よりだいたい病後児保育室を病児保育室とし開設し、定員を2名から4名へ拡大した。 ・令和3年4月より、加茂こども園にて病後児(体調不良時)保育室を開設予定。引き続き住民ニーズを注視し、今後の方向性を見極めたい。 																						